ファイルベイ用 CD-RW ドライブ

CRWI-B1610FB

ユーザーズマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... 次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

・本製品を「CRWI」と表記しています。

・文中[　]で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・CD-ROM、音楽CD、CD-R/RWメディアなどを合わせて「CD」と表記しています。

・付属のWinCDRユーザーガイド(*)には、CD-R/RWに関しての用語集が記載されています。本書でわからない用語があったときは、WinCDRユーザーガイド(*)の用語集を参照してください。

*「WinCDRユーザーガイド」は、印刷物ではなくオンラインマニュアルとして提供されています。WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。

著作権について

著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。CRWIを使用しての複製の際は、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。

■ BURN-Proofは、Buffer Under RuN errorにProofする（耐える）技術を表す造語です。耐火を意味するものではありません。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。
また、本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記にかかわらず弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・ 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・ 一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

■ 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
また弊社は、本製品に関して海外での保守および技術サポートは行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容（例：⚠感電注意)が描かれています。
⊘	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：⊘分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容（例：●プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

パソコンの使用直後は、パソコン内部の部品に手を触れないでください。

特にCPUやVGAチップが高温になっており、手を触れるとやけどをする恐れがあります。パソコンの電源スイッチをOFFにした後、30分以上たってから作業することをおすすめします。

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告や注意指示に従ってください。

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。

火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

電源ケーブルは、完全に差し込んでください。

差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

電源プラグを抜く

本製品の取り付け／取り外しをするときは、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

電源プラグをACコンセントに接続したまま取り付け／取り外しを行うと、感電および故障の原因となります。

禁 止

濡れた手で本製品に触れないでください。

パソコンの電源プラグがACコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、ACコンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

強 制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする危険があります。

強 制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにパソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにパソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

禁 止

レーザー光線を直視しないでください。

トレーを開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。レーザー光線が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。

⚠ 注意

強 制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカの定める手順に従ってください。

強 制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

パソコンおよび周辺機器の電源スイッチがONの状態で、フラットケーブルの抜き差しをしないでください。

本製品および周辺機器の故障の原因となります。

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。

データが消失、破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

本製品は精密機器ですので、衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。衝撃は本製品の故障の原因となります。

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

・強い磁界、静電気が発生するところ
　→故障の原因となります。

・振動が発生するところ
　→けが、故障、破損の原因となります。

・平らでないところ
　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。

・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
　→故障の原因となります。

・直射日光が当たるところ
　→故障や変形の原因となります。

・火気の周辺、または熱気のこもるところ
　→故障や変形の原因となります。

・漏電、漏水の危険があるところ
　→故障や感電の原因となります。

・ほこりの多いところ
　→故障の原因となります。

注意

CD-ROM、音楽CD、CD-Rメディア、CD-RWメディア（以後CDと表記）は次の点に注意して大切にお使いください。

- 直射日光を当てないでください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤を使ってお手入れをしないでください。汚れは、少量の水で湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。必ず、中心から外側へ向って軽く拭き取ってください。
- 表面に傷を付けたり、テープを貼ったり、文字を書いたりしないでください。
- 高温､多湿になる場所や､ほこりの多い場所に置かないでください。
- 表面に手を触れないでください。両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ってください。
- 持ち運ぶときは､必ずプラスチックケースに入れて大切に取り扱ってください。

禁止

ひびわれや変形、補修したCDは使用しないでください。

本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。

禁止

CD-RWメディアおよびCD-Rメディアの反射層が剥離する原因となりますので、次のことは行わないでください。

- 表面（レーベル面）に傷を付けないでください。
- メディア同士を重ねないでください。
- レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなどの先の硬い筆記用具を使用しないでください。
- シールやラベルなどを貼らないでください。

禁止

本製品にCDを入れたまま移動させないでください。

本製品の動作中または、CDを本製品に入れた状態で移動しないでください。

CD、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は、必ずCDを取り出し、パソコンの電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

強制

定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

本製品内部のレンズ等に、ほこりやタバコの煙等が付着し、CDの再生が正常にできなくなったり、書き込みができなくなることがあります。市販のレンズクリーニングキットで、定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

注意

ヘッドホンをご使用になる場合、ボリュームを大きくしないでください。

大きな音で長時間ヘッドホンをご使用になると、聴覚障害の原因となります。

禁止

シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

禁止

本製品のアクセスランプが点滅している時は、パソコンの電源スイッチをOFFにしたり、再起動しないでください。データが消失、破損する恐れがあります。

強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目 次

1 はじめに

CRWIの特長やメディアへの書き込みに必要なパソコン環境など、事前に知っておいていただきたいことを説明しています。

特長

● CD-R/RWメディアに書き込み可能

CRWIは、CD-RWメディアとCD-Rメディアにデータを書き込めます。転送速度は次のとおりです。

- CD-RW書き込み時: 1500KB/sec（10倍速）（*）、1200KB/sec（8倍速）（*）、600KB/sec（4倍速）、300KB/sec（2倍速）
- CD-R書き込み時: 2400KB/sec（16倍速）、1800KB/sec（12倍速）、1200KB/sec（8倍速）、600KB/sec（4倍速）、150KB/sec（1倍速）
- 読み出し時: 最大6000KB/sec（40倍速）

* CD-RWメディアに10倍速や8倍速で書き込みをするためには、High Speed対応のCD-RWメディアが必要です。

● バッファアンダーラン（書き込みエラー）を回避する「BURN-Proof」機能を搭載

CD-R/RWメディアへの書き込み中に他のアプリケーションで作業をしても、バッファアンダーランが発生しません。【P9「BURN-Proofとは?」】

● 多彩なフォーマット形式をサポート

次のCDのフォーマット形式をサポートしています。

○：サポートする
ー：サポートしない

CDのフォーマット形式	読み出し	書き込み	
		WinCDR (WindowsMe/98/95、Windows2000/NT4.0)	PacketMan (WindowsMe/98/95)
CD-DA（音楽CD）	○	○	ー
CD TEXT	○(*1)	○	ー
CD-ROM（Mode1）	○	○	○
CD-ROM XA	○	○	ー
Photo CD	○(*2)	○(*3)	ー
Video CD	○(*2)	○(*4)	ー
CD Extra	○	○	ー

*1 パソコンで再生する場合、再生ソフトウェアがCD TEXTに対応している必要があります（付属のWinCDRのCDプレーヤーは CD TEXTに対応しています）。オーディオ機器で再生する場合、オーディオ機器がCD TEXTに対応している必要があります。

*2 読み出しには、再生ソフトウェアが別途必要です。

*3 JPGファイルなどの画像データは、Photo CD形式ファイルへは変換できません。

4 Video CD形式ファイルへの変換にはVideo CDの規格に準拠したファイル形式（.MPGなど）でキャプチャしたデータが必要です。キャプチャには市販のキャプチャボードを使用してください。

● CD TEXTの作成と再生が可能
CD TEXTは、音楽CDに曲名などの文字情報を追加した物です。CD TEXTに対応したCDプレーヤーで文字情報を表示できます。
※ WinCDR付属のCDプレーヤーは、CD TEXTに対応しています。

● CDのバックアップが可能
CD-ROMドライブから直接バックアップするオンザフライバックアップと、CRWI1台だけでも可能な方法（ハードディスクにCDのイメージを作成する方法）があります。

必要なパソコン環境

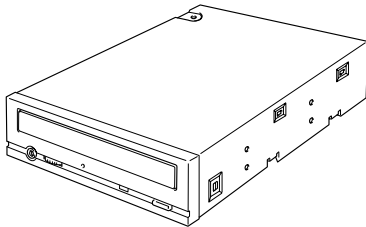
メディアへの書き込みには、次のパソコン環境が必要です。

- CPU Pentium166MHz以上
- メモリ ....64MB以上（WindowsMe/98/95）
  96MB以上（Windows2000/NT4.0）推奨128MB以上
- ハードディスク空き容量 インストール時に約10MB
  書き込み時の一時的な作業領域として約50～800MB（*）

* 必要な容量は、書き込むデータ容量によって異なります。ただし、オンザフライでの書き込み時には作業領域を使用しないので、空き容量は不要です。

パッケージの内容

パッケージには、次の物が梱包されています。万一、不足している物がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なる場合があります。

● CRWI（本体） 1台

● 取り付けネジ 4本

● オーディオケーブル
（SB互換） 1本

● CD-Rメディア（80分／700MB） 1枚

● フロッピーディスク
「CRWI-B1610FBドライバディスク」 1枚

● WinCDR・PacketMan
・CD-ROM 1枚
・WinCDRクイックスタートガイド 1冊
・PacketManクイックスタートガイド 1冊
※ WinCDRクイックスタートガイドの巻末には、お客様登録カード（株式会社アプリックス）がとじ込まれています。必要事項をご記入の上、必ずご返送ください。

● ユーザーズマニュアル（本書） 1冊

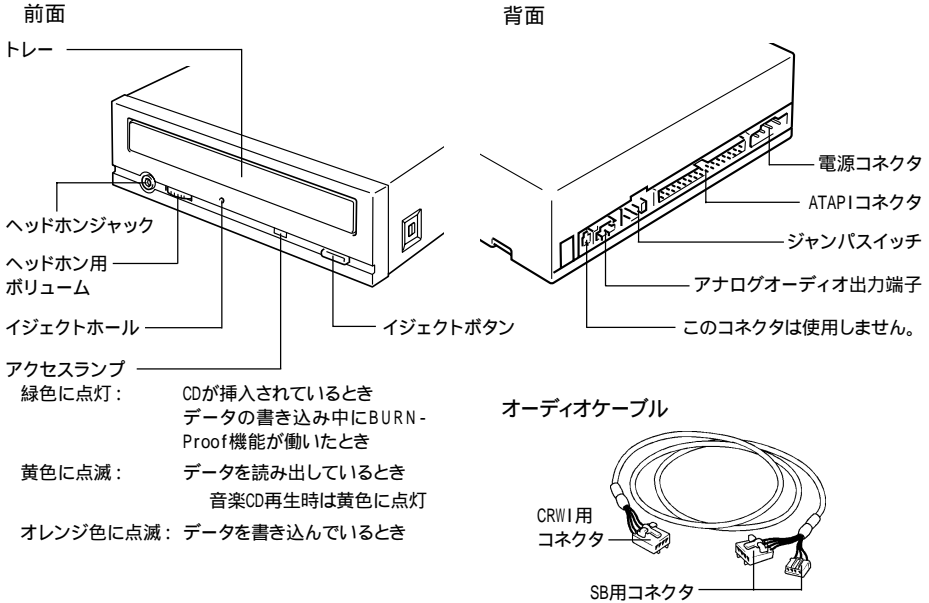
● ユーザー登録はがき、保証書
（株式会社メルコ） 1枚
※ ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は、大切に保管してください。
※ 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

各部の名称

緑色に点灯： CDが挿入されているとき
データの書き込み中にBURN-Proof機能が働いたとき

黄色に点滅： データを読み出しているとき
※ 音楽CD再生時は黄色に点灯

オレンジ色に点滅： データを書き込んでいるとき

●オーディオケーブル

BURN-Proofとは?

従来のCD-R/RWドライブでは、CD-R/RWメディアへの書き込み中に他のアプリケーションを起動したりすると、CD-R/RWドライブのバッファ(*)が瞬間的に空になってしまい、書き込みが中断されてしまう「バッファアンダーラン」と呼ばれるエラーが発生していました。

* パソコンから送られてくるデータを一時的に保管しておく装置

このエラーを防ぐために開発されたのが、「BURN-Proof」という技術です。

この技術を簡単に説明すると、次のようになります。

① CD-R/RWドライブ内のバッファに貯められているデータの量を監視する
② データが無くなりそうになったら、いったんCD-R/RWメディアへの書き込みを止める
③ 書き込みを中断した場所を記憶する
④ バッファにデータが溜まったら、③で記憶した位置から書き込みを再開する
（書き込みを一時中断した時間分だけ書き込み時間が長くなります。）

この働きにより、データの書き込みが途切れてしまった場合でも、続きのデータを継ぎ目なく書き込めるのです。

⚠注意 BURN-Proofは、バッファアンダーランにのみ有効な機能です。次の状況では働きません。

- 停電や電源切断
- パソコンやソフトウェアの故障／異常
- CRWIに衝撃を与えた場合や、CD-R/RWメディアの異常
- 記録する元データやドライブ（CD-ROMドライブなど）の異常

BURN-Proofは、Buffer Under RuN errorにProofする（耐える）技術を表す造語です。
耐火を意味するものではありません。

2 セットアップ

CRWIをパソコンに接続する方法や、操作方法を説明しています。

セットアップのながれ

パソコン→周辺機器順に電源スイッチをOFFにする

▼

CRWIをパソコンに取り付ける

▼

周辺機器→パソコンの順に電源スイッチをONにする
プラグアンドプレイにより、自動的にCRWIが認識されます。

（ここまで：「2 セットアップ」参照）

▼

ライティングソフトウェアをインストールする

「4 書き込みと読み出し」参照

▼ ▼

「WinCDR」を使用するとき
【別冊「WinCDRクイックスタートガイド」参照】

「PacketMan」を使用するとき
【別冊「PacketManクイックスタートガイド」参照】

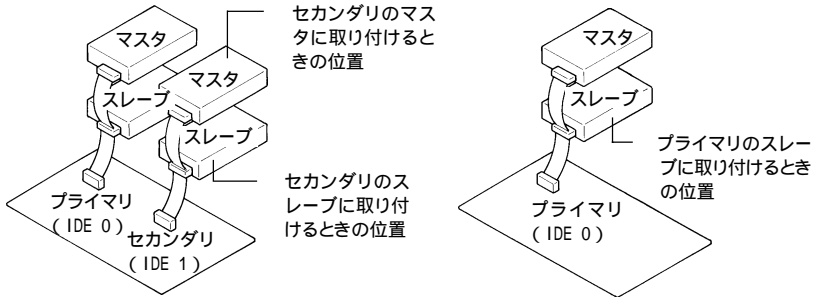
取り付けの前に

作業時の注意

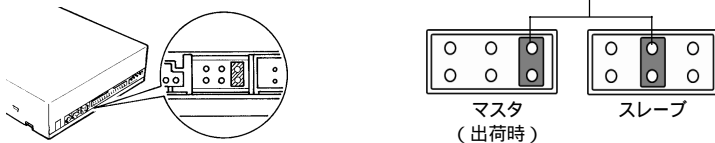
- パソコンの電源スイッチをOFFにする前に、ハードディスクなどに記録されている大切なデータを他のメディア（フロッピーディスクやMOディスクなど）に保存し、すべてのアプリケーションを終了してください。
- パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意、各種設定およびスイッチについては、各マニュアルを参照してください。
- パソコンおよびCRWIは精密な機器です。巻頭の「安全にお使いいただくために必ずお守りください」を必ず参照してください。
- パソコン側の取り付け／取り外しは、パソコンのマニュアルを参照してください。
  コネクタの場所やパソコン本体の形状などはパソコンによって異なります。本製品を取り付けるときは、パソコンのマニュアルを必ず参照してください。
- CRWIを取り付けるためには次のものが必要です。作業を行う前に用意してください。
  ・パソコンおよび周辺機器のマニュアル
  ・CRWI本体および付属品
  ・ドライバーなどの工具

ジャンパスイッチの設定

●取り付ける位置

通常、プライマリのマスタにはハードディスクが接続されています。そのため、CRWIは下図①〜③のいずれかの位置に取り付けます。
マスタ／スレーブはジャンパスイッチで設定します。【下記「接続のしかたとジャンパスイッチの設定」】を参照して適切な設定にしてください。
※CRWIのジャンパスイッチは、出荷時に“ マスタ ”に設定されています。

●接続について

CRWIをスレーブとして接続する場合は、下図の①のような形状のフラットケーブルが必要です。
パソコン本体付属のフラットケーブルが②のような形状の場合や、パソコン本体にフラットケーブルが付属していない場合は、弊社製IDE接続ケーブルDKV-I（別売）を使用してください。

●接続のしかたとジャンパスイッチの設定

使用環境		プライマリ（IDE 0）		セカンダリ（IDE 1）		CRWIのジャンパスイッチ設定
他のIDE機器	CRWI	マスタ	スレーブ	マスタ	スレーブ	
1台	1台		CRWI	−	−	スレーブ
			−	CRWI	−	マスタ
2台	1台		CRWI		−	スレーブ
				CRWI	−	マスタ
			−		CRWI	スレーブ
3台	1台				CRWI	スレーブ

（網掛け）：他のIDE機器が接続されている
−　：IDE機器が接続されていない

次のページへ続く

⚠注意 • 通常、プライマリのマスタにはハードディスクを接続します。CRWI1台だけを接続して使用することはできません。
• セカンダリにCRWI1台だけを接続するときは、必ずマスタに設定してください（出荷時はマスタに設定されています）。
• CRWIはハードディスクが接続されていないフラットケーブルに接続することをおすすめします。CRWIとハードディスクを同じフラットケーブルに接続すると、パソコンの動作が不安定になることがあります。

PC98-NXシリーズでの使用

CyberTrio-NXがインストールされている機種（※）では、CyberTrio-NXをアドバンストモード以外のモードで使用していると、DMA転送の設定ができないことがあります。DMA転送の設定を行う前に、必ずアドバンストモードに変更してください。【P18】
※ CyberTrio-NXがインストールされていると、タスクバーにインジケータが表示されます。

● CyberTrio-NXのモードの確認方法は、タスクバーに表示されているCyberTrio-NXのインジケータの色で確認できます。

赤	アドバンストモード	設定を変更する必要はありません。
黄	ベーシックモード	アドバンストモードに設定を変更してください。
緑	キッズモード／カスタムモード	アドバンストモードに設定を変更してください。

● 再起動後もアドバンストモードになるように、CyberTrio-NXを設定を変更します。

① [ｽﾀｰﾄ]－[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(P)]－[CyberTrio-NX]－[Go To ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄﾓｰﾄﾞ]を選択します。アドバンストモードに切り替わります。

② [ｽﾀｰﾄ]－[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(P)]－[CyberTrio-NX]－[CyberTrio-NX ｾｯﾄｱｯﾌﾟ]を選択します。

③ [CyberTrio-NXのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ダイアログボックスが表示されます。[ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄﾓｰﾄﾞ]を選択して[OK]ボタンをクリックします。
詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。

以上でアドバンストモードに設定されました。
本製品のドライバをインストールした後やWindowsの設定が終了した後は、アドバンストモード以外のモードも使用できます。任意のモードに変更してください。

CyberTrio-NX

パソコンを使う人の利用するレベルに合わせてWindowsの操作範囲や、アクセスできるフォルダを限定するためのユーティリティです。詳しくはパソコン本体のマニュアルを参照してください。

取り付け方法

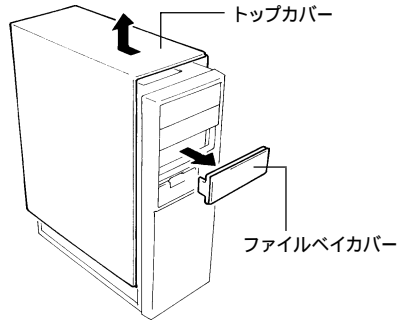
パソコンの機種によって取り付け手順が異なります。使用している機種に合った取り付け例を参照してください。

タワー型パソコンを使用しているとき

⚠注意 ・次の説明は一例です。パソコンによって取り付けかたが異なりますので、必ずパソコンメーカーが定める取り付け方法に従ってください。

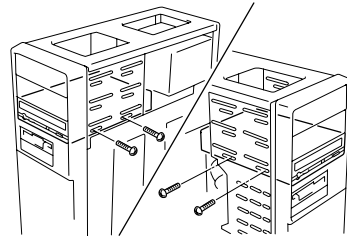
・CRWIは、トレーにセットしたCDが垂直になる向きでは使用できません。必ずCRWIが水平になるようにパソコンに取り付けてください。

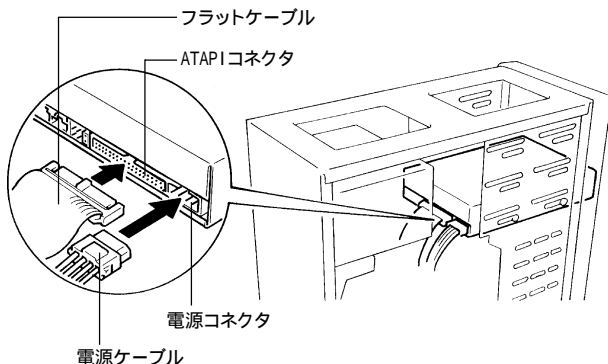
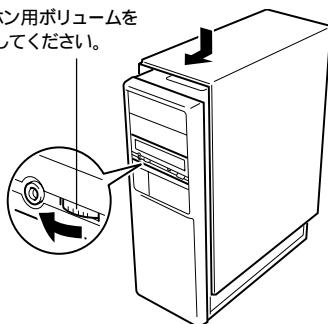
1 **パソコン→周辺機器の順で電源スイッチをすべてOFFにし、ケーブル類を取り外します。さらに、パソコンのトップカバー（ネジ止め）、ファイルベイカバーを外します。**

⚠注意 パソコンおよび周辺機器の電源スイッチは必ずOFFにしておいてください。

2 **CRWIの取り付け条件に合わせて、ジャンパスイッチを設定します。**
【P11「ジャンパスイッチの設定」】

3 **CRWIをファイルベイに挿入し、付属の取り付けネジ（4本）で固定します。**

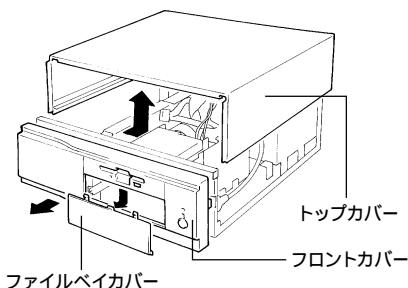
⚠注意 ケーブルのはさみ込みやコネクタの抜けなどがないように注意してください。

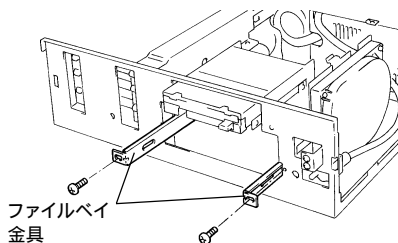
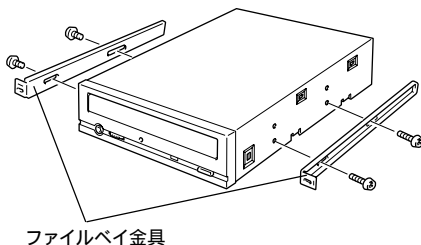
次のページへ続く

4 フラットケーブルと電源ケーブルを接続します。

- パソコンにIDE機器接続用のフラットケーブルが付属していないときは、別売の弊社製IDE接続ケーブルDKV-Iをお使いください。
- ジャンパスイッチの設定と、フラットケーブルの接続が正しいか確認してください。【P11】
- アナログオーディオ出力端子への接続は、【P16「サウンドボードとの接続」】を参照してください。

5 パソコンのトップカバー(ネジ止め)を取り付け、パソコンおよび周辺機器を元どおり接続します。

デスクトップ型パソコンを使用しているとき

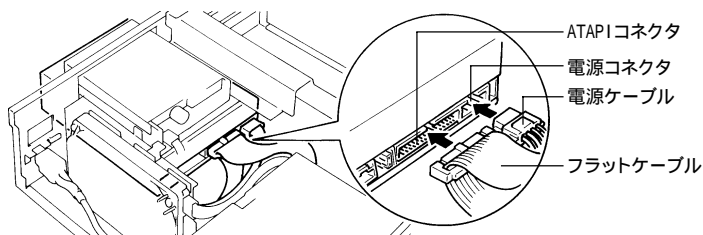
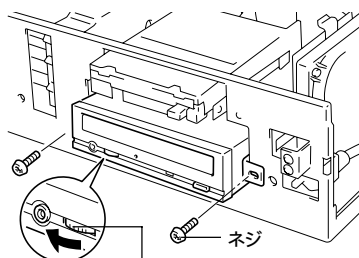
⚠注意
- 次の説明は一例です。パソコンによって取り付けかたが異なりますので、必ずパソコンメーカーが定める取り付け方法に従ってください。
- CRWIは、トレーにセットしたCDが垂直になる向きでは使用できません。必ずCRWIが水平になるようにパソコンに取り付けてください。

1 パソコン→周辺機器の順で電源スイッチをすべてOFFにし、ケーブル類を取り外します。さらに、パソコンのトップカバー(ネジ止め)およびファイルベイカバーを外します。

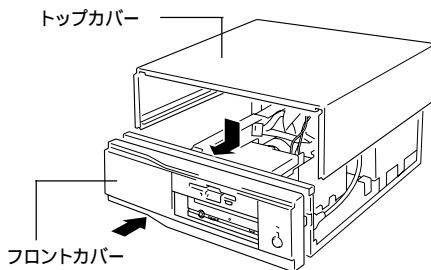
⚠注意 パソコンおよび周辺機器の電源スイッチは必ずOFFにしておいてください。

次のページへ続く

2 ファイルベイ金具を取り出します。

3 付属の取り付けネジ（4本）でCRWIにファイルベイ金具を取り付けます。

4 CRWIの取り付け条件に合わせて、ジャンパスイッチを設定します。【P11「ジャンパスイッチの設定」】

5 CRWIをファイルベイに半分ほど挿入し、フラットケーブルと電源ケーブルを接続します。

- パソコンにIDE機器接続用のフラットケーブルが付属していないときは、別売の弊社製IDE接続ケーブルDKV-Iをお使いください。
- ジャンパスイッチの設定と、フラットケーブルの接続が正しいか確認してください。【P11】
- アナログオーディオ出力端子への接続は、【P16「サウンドボードとの接続」】を参照してください。

6 CRWIを奥まで押し込んで付属の取り付けネジで固定します。

⚠注意 ケーブルのはさみ込みやコネクタの抜けなどがないように注意してください。

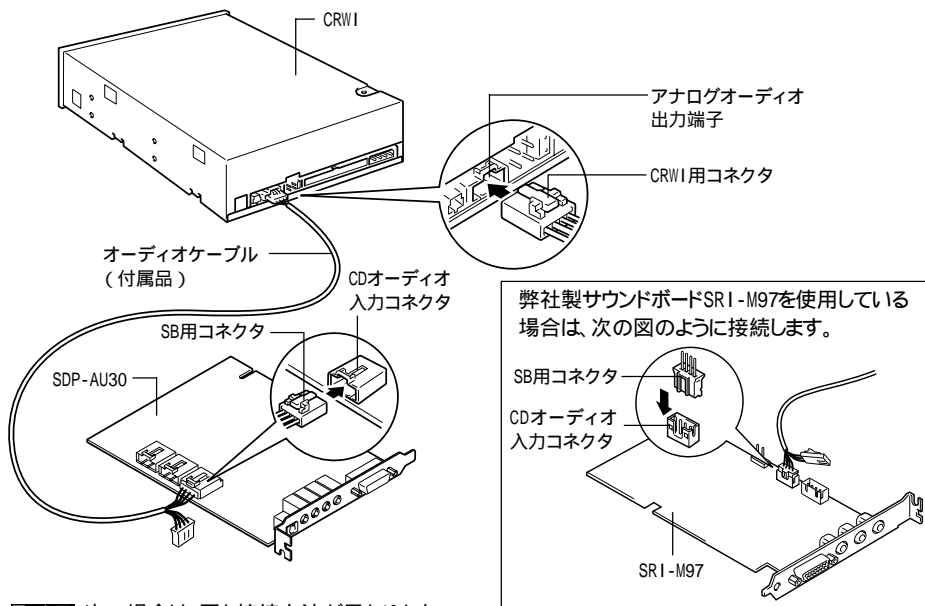
次のページへ続く

7　パソコンのフロントカバー、トップカバー（ネジ止め）を取り付け、パソコンおよび周辺機器を元どおり接続します。

サウンドボードとの接続

付属のオーディオケーブルでCRWIとサウンドボードを接続すれば、音楽CDの音声をサウンドボードに出力できます。サウンドボードにオーディオ機器を接続してください。

⚠注意　CPUなどパソコン内部の高温になる部品の近くや、オーディオケーブルを傷付けるおそれのある場所を避けて配線してください。

メモ
- 弊社製サウンドボード SRI-PJ/P/F や弊社製 MPEG キャプチャボード MEG-VC1 に接続するときは、別売の弊社製サウンドボード用オーディオケーブルが必要です。
- オーディオケーブルの SB 用コネクタは 2 種類あります。使用しているサウンドボードのコネクタの形状に合ったコネクタを使用してください。

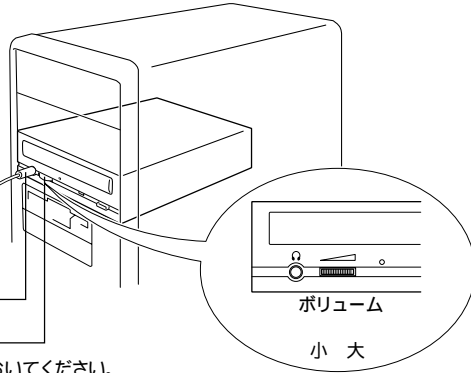
下の図は、弊社製サウンドボードSDP-AU30との接続例です。

メモ　次の場合は、図と接続方法が異なります。
- CRWIを既存のCD-ROMドライブと交換した場合
  CD-ROMドライブに接続されていたオーディオケーブルを、CRWIのオーディオ出力端子に接続してください。
- 既存のCD-ROMドライブとCRWIを併用する場合
  ステレオミニプラグ用コードを別途用意し、CRWIのヘッドホンジャックとサウンドボードのLINE IN（外部入力端子）を接続してください。

ヘッドホンの接続

CRWIには、ヘッドホンで音楽CD（CD-DA）などを楽しめるように、ヘッドホン出力端子が付いています。

CRWIの前面にあるヘッドホン出力端子にヘッドホンのプラグ（ステレオミニプラグ）を接続し、ヘッドホン用ボリュームで音量を調整します。
※ ヘッドホンは別途ご用意ください。

⚠注意 大きな音量で長時間使用すると、聴覚障害の原因となります。

※ CDを再生する前に最小にしておいてください。
CDを再生し始めてから、最適な状態になるようにボリュームを調節してください。

WindowsMe/98/95の設定

WindowsMe/98/95を使用している場合、CRWIがDMA転送(*)をするように設定します。
* CPUを介さずにアクセスする高速な転送方式

※ PC98-NXシリーズをお使いのときは、次の操作をする前にCyberTrio-NXをアドバンストモードに変更してください。
【P12「PC98-NXシリーズでの使用」】

DMA転送への設定変更手順は次のとおりです。

1 [ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ]アイコンにマウスカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックします。

2 表示されたメニューから[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(R)]をクリックします。

3 [ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ダイアログボックスが表示されたら、[ﾃﾞﾊﾞｲｽ ﾏﾈｰｼﾞｬ]タブをクリックします。

4 [CD-ROM]をダブルクリックします。

5 [PLEXTOR CD-R PX-W1610A]をダブルクリックします。

6 [PLEXTOR CD-R PX-W1610Aのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]が表示されたら、[設定]タブをクリックします。

7 [□ DMA]をクリックしてチェックマーク(✓)を付けます。
DMA転送に対応していない機種では、[□ DMA]のチェックボックスがないかグレー表示になっています。

8 [OK]ボタンをクリックし、メッセージに従ってシステムを再起動します。

チェックマーク（✓）を付けます。

⚠注意 お使いのパソコンによっては、DMA転送に設定を変更すると、CDの読み込みが正常にできない、Windowsが正常に起動しないなどの現象が起こることがあります。お使いの環境がDMA転送に対応しているかどうかはパソコンメーカーにご確認ください。このようなときはDMAのチェックボックスのチェックマーク(✓)を外してください。Windowsが起動しない場合は、P27を参照してDMAの設定を解除してください。

WindowsNT4.0の設定

CRWIをWindowsNT4.0で使用する場合は、パソコンの使用環境に応じて次のように設定してください。

● CRWIを使用してWindowsNT4.0をセットアップする場合
CRWIをパソコンに接続し、WindowsNT4.0をインストールします。セットアップの途中でCD-ROMドライバがインストールされます。

● WindowsNT4.0セットアップ済みのパソコンでCRWIを使用する場合
ATAPI対応CD-ROMドライブからCRWIに交換するときは、ATAPI CD-ROMドライバの設定を変更する必要はありません。それ以外の場合は、次の設定を行ってください。

① [ｽﾀｰﾄ] ― [設定(S)] ― [ｺﾝﾄﾛｰﾙ ﾊﾟﾈﾙ(C)] と選択し、[SCSIｱﾀﾞﾌﾟﾀ] アイコンをダブルクリックします。

② [ﾄﾞﾗｲﾊﾞ] タブをクリックし、[追加(A)] ボタンをクリックします。

③ [IDE CD-ROM(ATAPI)] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

④ パソコンを再起動すれば、CRWIが使用可能になります。

2

セットアップ

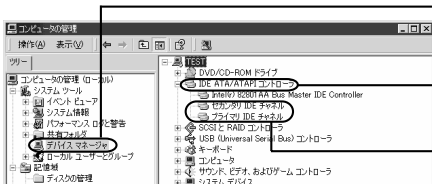
Windows2000の設定

CRWIをパソコンに取り付けてパソコンを起動した後に、DMA転送を行うように設定します。DMA転送は下記に記載の手順で設定できます。
※パソコンの機種によってはDMA転送に対応していないものもあります。パソコンのマニュアルを参照してください。

1 デスクトップ画面の[マイ コンピュータ]アイコンにマウスのカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックします。

2 メニューが表示されたら[管理(G)]をクリックします。

3

① [デバイスマネージャ]をクリックします。

② [IDE ATA/ATAPI コントローラ]をダブルクリックします。

③ CRWIを接続しているチャネル(セカンダリまたはプライマリ)をダブルクリックします。

4

① [詳細設定]タブをクリックします。

② [転送モード(T)]の▼をクリックし、[DMA(利用可能な場合)]を選択します。 初期設定では[PIOモード]に設定されています。

※ CRWIをマスタとして接続しているときは、[デバイス0]の設定を変更してください。スレーブとして接続しているときは、[デバイス1]の設定を変更してください。

③ [OK]ボタンをクリックします。

5 メッセージに従ってシステムを再起動します。

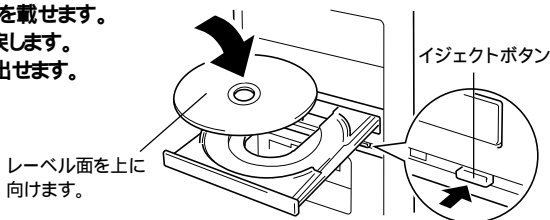
⚠注意 パソコンの機種によっては、DMA転送に非対応で、CDのデータが正しく読み出せないことがあります。その場合は、上記の[転送モード(T)]を[PIOモード]に設定してください。

3 取り扱いかた

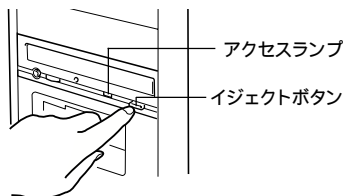
CD のセットのしかたやメディアの取り扱いに関する注意を説明しています。

CD のセット／取り出し

● CD をセットする

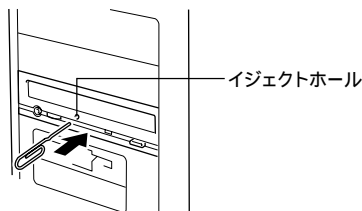
イジェクトボタンを押してトレーを出し、CDを載せます。
もう一度イジェクトボタンを押してトレーを戻します。
ライティングソフトウェアの操作でもトレーを出せます。

● CD を取り出す

イジェクトボタンを押してトレーを出し、CDを取り出します。
もう一度イジェクトボタンを押してトレーを戻します。
ライティングソフトウェアの操作でもトレーを出せます。

⚠注意 アクセスランプが点滅しているときは、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。CD や CRWI が破損するおそれがあります。

メモ
- WinCDR が起動しているときは、イジェクトボタンを押してもトレーは排出されません。その場合は、WinCDR のツールバーにある［イジェクト］アイコンをクリックしてください。
- PacketMan がインストールされた状態で、パケットライト方式のメディアをセットすると、イジェクトボタンを押してもトレーは排出されません。デスクトップ画面［マイコンピュータ］内の CD のアイコンを右クリックし、メニューから［取り出し］を選択してください。

● トレーが出ないとき

停電などによってCDが入ったままの状態で電源が切れてしまうと、イジェクトボタンを押してもトレーが排出されません。その場合は、クリップを伸ばしたものなどをイジェクトホールに差し込んで、強制的にトレーを排出させます。

⚠注意 この操作は、CRWI の電源スイッチを OFF にして 30 秒以上待ってから行ってください。電源スイッチを OFF にした直後はCDが回転しているため、強制的にトレーを排出すると、CD が破損するおそれがあります。

音楽CDの再生方法

CRWIをサウンドボードに接続しているときやCRWIにヘッドホンを接続しているときは、音楽CDを聴くことができます。【P16「サウンドボードとの接続」】【P17「ヘッドホンの接続」】

再生には、WinCDR付属の「CDプレーヤー」を使用します。WinCDRのインストール後に使用できます。

⚠注意 ヘッドホンを使用するときは、事前にCRWIのヘッドホン用ボリュームを下げておいてください。

[スタート]－[プログラム(P)]－[WinCDR]－[CDプレーヤー]と選択します。

操作方法は、CDプレーヤーのポップアップウィンドウ（操作ボタン上にマウスカーソルを重ねると表示される文字情報）を参照してください。

※Windowsに標準で付属しているCD再生機能でも再生できます。操作方法は、Windowsのヘルプファイルを参照してください。

メディアの取り扱いに関する注意

CD-R/RWメディアは繊細なメディアです。わずかな傷や汚れの付着によっても正常に書き込めなくなるおそれがあります。取り扱いには十分注意し、次の事項を必ず守ってください。

- 直射日光に長時間さらさないでください。
- メディアに傷を付けないでください。
- 記録面に手を触れないでください。
- 記録面にゴミやほこりなどが付着しているときは、市販のダストクリーナーで除去してください。
- シールやラベルなどを貼らないでください。
- メディア同士を重ねないでください。
- レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなど先の硬い筆記具は使用しないでください。

4 書き込みと読み出し

CD-R/RWメディアへの書き込みと読み出しについて説明しています。

書き込み

メディアにデータを書き込むときは、CRWI付属のライティングソフトウェア「WinCDR」または「PacketMan」を使用します。ライティングソフトウェアのインストール方法は「WinCDRクイックスタートガイド」または「PacketManクイックスタートガイド」を参照してください。

⚠注意 著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。CRWIを使用して複製するときは、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。

⚠注意 WinCDRまたはPacketManで書き込んだメディアには、他のライティングソフトウェアでは追記できません。

メモ CD-RWメディアへの書き込み速度は10倍速(*)、8倍速(*)、4倍速、2倍速が選択できます。CD-Rメディアへの書き込み速度は、16倍速、12倍速、8倍速、4倍速、1倍速が選択できます。
* High Speed対応CD-RWメディア使用時

WinCDR、PacketManの操作方法や製品情報は、「株式会社アプリックス ユーザーサポート」までお問い合わせください。【「WinCDRクイックスタートガイド」内の1ページ参照】
CRWIの操作方法や製品情報は、株式会社メルコ インフォメーションセンターまでお問い合わせください。【本書の裏表紙参照】

ライティングソフトウェアの特徴

● WinCDR

音楽CDやビデオCDの作成、CDやドライブのバックアップに最適なライティングソフトウェアです。

- 対応OSはWindowsMe/98/95、Windows2000/NT4.0です。
- ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスターCDが作成できます。
- WinCDRで作成したメディアは、Macintoshでも読み出せます。
  ※ ただし、アプリケーションなど、ソフトウェア上互換性のないものを除きます。
  ※ ボリュームラベルとして使用できる文字は、0〜9およびA〜Z(大文字)です。

⚠注意 本製品の仕様により、WinCDRの設定ダイアログボックス(*)で[ｺﾋﾟｰ許可]を選択できません。
* [ｺﾋﾟｰ許可]が含まれるダイアログボックスは、WinCDRのメイン画面で次のメニューを選択すると表示されます。
- [設定]－[基本設定]
- [設定]－[ﾄﾗｯｸ設定]

● PacketMan

CD-R/RWメディアに対して、フロッピー感覚でデータの読み出し／書き込みをするライティングソフトウェアです。

- 対応OSはWindowsMe/98/95です。
- 小さなパケット単位で書き込むので、バッファアンダーランが発生しません。
- 小さなファイルを記録する場合も、ディスク容量が無駄になりません。
- ハードディスクなどにデータをコピーする感覚(マウスでのドラッグ&ドロップ操作)でデータを書き込めます。

次のページへ続く

● WinCDRとPacketManの比較

○：対応　－：非対応

	WinCDR (WindowsMe/98/95/ Winndows2000/NT4.0)	PacketMan (WindowsMe/98/95)
ISO9660（CD-ROMの標準ファイルフォーマット）	○	－
CD-DA（音楽CDフォーマット）	○	－
CD TEXT	○	－
Mixed Mode CD（CD-DAとデータの混在フォーマット）	○	－
CD-ROM XA（ビデオ、テキスト、音楽の混在フォーマット）	○	－
フォトCD（フォトCDイメージファイル）	○	－
CD-ROM　Mode1	○	○
CD Extra（ブルーブック0.9までをサポート）	○	－
マルチセッションサポート（追記記録方式）	○	○
パケットライト（追記記録方式）	－	○
ディスクアットワンス	○	－
トラックアットワンス	○	－
セッションアットワンス	○	－
バーチャルイメージからのオンザフライ書き込み ・中間ファイルを作成せず、CDイメージをリアルタイムで書き込む	○	○
ハードディスク上でのISOイメージ作成 ・CDイメージをハードディスクに作成してからCDへ書き込むので、CDへ書き込む容量と同じ容量のハードディスクが必要	○	－
CDを作成する前の書き込み前のテスト	○	－
ロングファイル名サポート	○	○
Joliet（DOS名と64文字までのファイル名）	○	－
DOSファイル名（8.3）	○	○
ISO9660レベル1標準（8.3）	○	－

書き込み方式

CRWI付属のライティングソフトウェア「WinCDR」と「PacketMan」は、それぞれ次の書き込み方式に対応しています。

書き込み方式	対応するソフトウェア
ディスクアットワンス	WinCDR
トラックアットワンス	WinCDR
セッションアットワンス	WinCDR
パケットライト	PacketMan

メディアの使用目的に応じてライティングソフトウェアと書き込み方式を選択してください。【P23「ライティングソフトウェアの特徴」】

● ディスクアットワンス方式

CRWI付属のライティングソフトウェア「WinCDR」は、この書き込み方式に対応しています。

- リードインからリードアウトまでを1回で書き込む。
- 1枚のCD-RWメディア、もしくはCD-Rメディアに対して1回だけ書き込みができる（容量が残っていても追記できない）。

次のページへ続く

・CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。
・CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。

メモ WinCDRでの書き込み時に「Disc at once/Session at once」を選択すれば、ディスクアットワンス方式で書き込めます。

●トラックアットワンス方式
CRWI付属のライティングソフトウェア「WinCDR」は、この書き込み方式に対応しています。
・ディスク容量に空きがある限り、何度でも追記が可能。
・CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

⚠注意 ・2トラック以降にデータを含むCDは、トラックアットワンス方式でのバックアップはできません。ディスクアットワンス方式でバックアップしてください。
・1回書き込むごとにリードアウトとリードインが書き込まれるため、約13～23MBが余分に消費されます。また、WinCDRで「追記禁止」に設定して書き込みをすると、以降はそのCD-R/RWメディアには追記できなくなります。

メモ WinCDRでの書き込み時に「Track at once」を選択すれば、トラックアットワンス方式で書き込めます。

● セッションアットワンス方式
CRWI付属のライティングソフトウェア「WinCDR」は、この書き込み方式に対応しています。

メモ 音楽データとファイルデータをCD Extra形式で書き込む際に、「Disc at once/Session at once」を選択すると、自動的にセッションアットワンス方式で書き込まれます。

・CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。
・CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

● パケットライト方式
CRWI付属のライティングソフトウェア「PacketMan」は、この書き込み方式に対応しています。
・パケット単位で書き込むため、事前に書き込むファイルを指定する必要がなく、ハードディスクなどのようにファイル単位で書き込み可能。
・パケットライトに対応していないCD-ROMドライブでは読み出せない。

書き込み動作確認メディア

弊社で書き込み動作を確認したCD-R/RWメディアは次のとおりです。詳しくは弊社カタログを参照してください。

・CD-RWメディア .... RICOH、三菱化学、TDK、日立マクセル
・CD-RWメディア(High Speed対応) ..... RICOH、三菱化学
・CD-Rメディア .... 太陽誘電、RICOH、三井化学、富士FILM、SONY、イメーション、ONKYO、TDK、PHILIPS、三菱化学、日立マクセル、KODAK、パイオニア

CD-RWの制限事項

● CD-RWでは、1000回以上のデータの書き換えが可能です。

● データを消去したいときは、1枚のCD-RWメディア全体を初期化します。セッション単位、ファイル単位、フォルダ単位では消去できません。初期化はライティングソフトウェアで行います。

● CD-RWメディアで10倍速、8倍速で書き込みをする場合
HighSpeedに対応したCD-RWメディアを使用してください。HighSpeedに対応したCD-RWメディアには、次のロゴが表示されています。

COMPACT disc ReWritable High Speed

※ このロゴは、フィリップス社が著作権を有しています。

● CD-ROMに比べて反射率が低いため、CD-RWに対応したドライブでないと読み出せません。
CD-RWに対応していないCD-ROMドライブや音楽CD用プレーヤーでは、データを読み出せません。
CD-RW対応の弊社製ドライブ(2001年2月現在)は次のとおりです。

CRWiF、CRWU、CRWS、CRWI、CDRW、CDRシリーズ
DVD-RAM5.2GT、RAM5.2G、RAMT5.2G、
RAM5.2G/A
DVD-ROM16FB、ROM12FB、ROM6FB、ROM5FB
CDS-S40、S35SL、S24SL、S24
CDI-48FB、40FB、32FB、24FB
CDN-D24VA、D24EX、D12EX

※ 使用しているCD-ROMドライブがCD-RWに対応しているかどうかは、パソコン本体のメーカまたはCD-ROMドライブのメーカにお問い合わせください。

読み出し

CRWIは、CD-ROMドライブと同じようにCD-ROMの読み出しや音楽CDの再生ができます。
次のフォーマット形式を読み出せます。

・音楽CD(CD-DA)
・CD-ROM(Mode1)
・CD-ROM XA Mode2(Form1、Form2)
・Video CD(*2)
・CD TEXT(*1)
・CD Extra
・Photo CD(*2)

*1 再生用ソフトウェアがCD TEXTに対応している必要があります。WinCDR付属のCDプレーヤーは、CD TEXTに対応しています。

*2 読み出しには、再生用ソフトウェアが別途必要です。

⚠注意 PacketManで書き込んだメディアを他のパソコンで読み出す場合、読み出すパソコンにもPacketManのドライバがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、WinCDRのCD-ROMに収録されているPacketManリーダーをインストールしてください。PacketManリーダーをインストールするには、WinCDRのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、インストール画面が表示されたら[PacketMan Reader]をクリックします。

5 付録

困ったときは

CRWIを使用してトラブルが発生したときの原因と対処方法を説明します。

一般的なトラブル

DMA転送が有効にならない（WindowsMe/98/95）

DMA転送を有効にする設定【P18「WindowsMe/98/95の設定」】をした後でパソコンを再起動すると、設定が元に戻ってしまう（DMA転送が有効にならない）ことがあります。次の手順で再設定してください。

① P18のDMA転送の設定１～４を行います。
② ［PLEXTOR CD-R PX-W1610A］をクリックし、［削除(E)］ボタンをクリックします。
③ ［デバイス削除の確認］ウィンドウが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。
④ ［閉じる］ボタンをクリックし、パソコンを再起動します。
⑤ P18を参照し、DMA転送を有効にする設定を再度行ってください。

DMA転送設定後、WindowsMe/98/95が起動しない

お使いのパソコンによっては、DMA転送に設定するとWindowsが起動しないことがあります。次の手順でDMAの設定を解除してください。

① WindowsMe/98では<ctrl>キー、Windows95では<F8キー>を押しながらパソコンの電源スイッチをONにします。
※<ctrl>キー、または<F8キー>は[Startup Menu]が表示されるまで押し続けてください。
② [Startup Menu]が表示されたら、[Safe Mode]で起動します。
③ デスクトップ画面の[マイコンピュータ]アイコンを選択し、マウスで右クリックします。
④ 表示されたメニューから、[プロパティー(R)]をクリックします。
⑤ [デバイスマネージャー]タブをクリックします。
⑥ [CD-ROM]の中の[PLEXTOR CD-R PX-W1610A]を選択し、[削除(E)]ボタンをクリックします。
⑦ Windowsを再起動します。

トレーが排出されない

パソコンの電源スイッチがOFFになっている	パソコンの電源スイッチをONにしてください。停電などによってパソコンの電源が入らないときは、「トレーが出ないとき」【P21】を参照して強制的にトレーを排出してください。

特定のソフトウェアでCRWIが使用できない

パソコンに標準搭載されているドライブ専用に作られたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。
その場合は、パソコンに標準搭載のドライブを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。
※ソフトウェアの仕様は、ソフトウェアメーカ（プリインストールソフトではパソコンメーカの場合があります）にご確認ください。

リカバリーCDをセットすると「Not ready...」と表示される

パソコンに複数のCD-ROM(CD-R/RW、DVD)ドライブを接続している	WinCDRに付属のバッチファイル(GHOST.BAT)で作成した起動ディスクからパソコンを起動した場合、次の優先順位でドライブが認識されます。 ATAPIプライマリ接続ドライブ(マスタ→スレーブの順) → ATAPIセカンダリ接続ドライブ(マスタ→スレーブの順) → SCSI接続ドライブ(SCSI-IDの小さい順) CDをセットしたドライブより優先順位の高いCD-ROM(CD-R/RW、DVD)ドライブが存在すると、「Not ready...」と表示されCDが認識されません。CDは優先順位の高いドライブにセットしてください。

WinCDRでWAVEデータの作成に失敗する

ALi製チップセットを搭載したマザーボードを使用している	ALi製チップセットを搭載したマザーボード(ASUS社製P5A-WOAマザーボードなど)を使用している場合、音楽CDからWAVEデータを作成できません。上記の現象はALi社の最新のIDEドライバをインストールすることで回避できます。最新のドライバは次のALi社のホームページからダウンロードすることができます。 http://www.ali.com.tw/

読み出し時のトラブル

CD-RWメディアが読み出せない

CD-ROMドライブがCD-RWに対応していない	CD-RWメディアはCD-ROMに比べ反射率が低いため、CD-RWに対応していないCD-ROMドライブや音楽CD用プレーヤーでは読み出せません。CD-RWに対応したドライブで読み出してください。 【P25「CD-RWの制限事項」】

2回以上書き込むと前のセッションが読み出せない／読み出し時にエラーが発生する

書き込み時に最後のセッションを読み込まないように設定している	ライティングソフトウェアで書き込む際に、最後のセッションを読み込まないように設定していると、新しく書き込んだセッションだけが読み出せるようになります。最後に書き込んだセッションも読み出したいときは、最後のセッションを参照するように設定して書き込んでください。
CDが汚れている、または破損している	CDの記録面に傷や汚れが付いていると、正しく読み出せません。ほこりなどが付着しているときは市販のダストクリーナーなどで除去してください。
CDが裏返しになっている	CDを取り出し、CDのレーベル面を上に向けてトレーに載せてください。

WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSでファイル名が化ける

ロングファイル名を使用したデータを書き込んだ	WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSはロングファイル名に対応していないため、RomeoやJolietで書き込まれたデータはファイル名が化けることがあります。WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSでCDを読み出すときは、DOS名(8+3形式)で書き込んでください。

Photo CDが読み出せない

Photo CDのディスクに欠陥がある	他のPhoto CDが読み出せるか確認してください。読み出せるときは、読めないPhoto CDに欠陥があると考えられます。

作成したVideo CDが再生できない

弊社製MEG-VC1でキャプチャしたデータでVideo CDを作成した	弊社製MPEGキャプチャボードMEG-VC1に付属のソフトウェア「MPEGキャプチャ Ver2.1」以降でキャプチャしたMPEGファイルを使用してください。最新のソフトウェアは、弊社ホームページ【裏表紙参照】からダウンロードできます。

読み出し時に異音がする

CDにシールが貼られている	CDにシールなどを貼っていると、CDの重心が偏り、回転時に振動が発生することがあります。絶対にシールなどを貼らないでください。

オーディオ機器から音楽CDの音声が聴こえない

オーディオケーブルが正しく接続されていない	オーディオ機器やパソコン(またはサウンドボード)のマニュアルを参照して、正しく接続してください。

ヘッドホンから音楽CDの音が聴こえない

ボリュームが最小になっている	CRWI前面のヘッドホン用ボリュームで調整してください。

CD-R/RWメディアにデータを書き込めない

ライティングソフトウェアを使用していない	CRWI付属のライティングソフトウェアを使用してください。
CD-ROM、音楽CD(CD-DA)がセットされている	CD-R/RWメディアにだけデータを書き込めます。CD-ROMや音楽CD(CD-DA)などには書き込めません。
CRWIの電源が入っていない	CRWIに電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
インターフェースケーブルが正しく接続されていない	パソコンのマザーボードに接続されたインターフェースケーブルに、CRWIを正しく接続してください。【P13】
バッファアンダーランの発生したCD-R/RWメディアを使用している	バッファアンダーランの発生したCD-Rメディアは書き込みも読み出しもできなくなりますが、「WinCDR」のリペア機能で復旧処理を行えば、残りの容量への書き込みや読み出しが可能になることがあります。詳しくは、「WinCDRユーザーガイド(*)」を参照してください。 CD-RWメディアの場合は、バッファアンダーランが発生してもメディアを初期化することで、全容量が使用できるようになります。 * WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。

書き込み時のトラブル

「データ転送が間に合いませんでした」というエラーメッセージが表示される（バッファアンダーランが発生する）

原因	対処
BURN-Proof機能が無効になっている	WinCDRの［設定］メニューで［基本設定］を選択します。この画面でBURN-Proof機能を有効（初期設定）に変更してください。【「WinCDRユーザーガイド(*)」参照】 * WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。

CD-R/RWメディアに追記できない

原因	対処
ライティングソフトウェアが違っている	ソフトウェアの仕様により、前回書き込みをしたライティングソフトウェアを使用しないと、追記できません。前回使用したライティングソフトウェアで書き込んでください。
メディアの容量が足りない	新しいメディアに書き込んでください。
他社製のCD-R/RWドライブで書き込んだメディアを使用している	他社製のCD-R/RWドライブで書き込んだメディアには追記できません。CRWIで書き込んだメディアを使用してください。
バッファアンダーランの発生したメディアを使用している	バッファアンダーランの発生したCD-Rメディアは書き込みも読み出しもできなくなりますが、「WinCDR」のリペア機能で復旧処理を行えば、残りの容量への書き込みや読み出しが可能になることがあります。詳しくは、「WinCDRユーザーガイド(*)」を参照してください。 CD-RWメディアの場合は、バッファアンダーランが発生してもメディアを初期化することで、全容量が使用できるようになります。 * WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。
トラックアットワンス書き込み時に「追記禁止」を選択している	ライティングソフトウェアで「追記禁止」に設定して書き込むと、書き込んだセッションが閉じられ、それ以降は追記できなくなります。別のメディアにデータを書き込んでください。

16倍速、12倍速、10倍速、8倍速で書き込みができない

原因	対処
メディアが対応していない	ご使用のCD-R/RWメディアが指定した書き込み速度に対応していることを確認してください。
メディアが傷ついたり汚れが付着している	メディアが傷ついたり、ほこりや汚れが付着している可能性があります。他のメディアでもう一度書き込んでみてください。
ライティングソフトウェアがCRWIに対応していない	CRWIに付属しているライティングソフトウェアを使用してください。付属品以外のライティングソフトウェアを使用するときは、ソフトウェアのメーカに対応しているかどうかお問い合わせください。

パケットライト方式で書き込んだCD-R/RWメディアを読み出せない

CD-ROMドライブがパケットライト方式に対応していない	CD-ROMドライブによっては、パケットライト方式に対応していない物があります。
読み出しを行うパソコンにPacketManのリードドライバがインストールされていない	読み出すパソコンにもPacketManのリードドライバをインストールする必要があります。インストールされていない場合、WinCDRのCD-ROMに収録されているPacketManリーダーをインストールしてください。PacketManリーダーをインストールするには、WinCDRのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、インストール画面が表示されたら[PacketMan Reader]をクリックします。

音楽CDをキャプチャしたデータにノイズや音飛びが発生する

音楽CDを再生したCD-ROMドライブが対応していない	CD-ROMドライブによっては、正常に音楽CDをキャプチャできないものがあります。その場合は、CRWIで音楽CDを再生してキャプチャしてください。
読み込み速度が適切でない	音楽CDによっては、汚れや小さな傷などによって、高速での読み込み時にノイズが発生することがあります。その場合は読み込み速度を1倍速に設定してください。設定方法は「WinCDR ユーザーガイド(*)」を参照してください。 * WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。
音楽CDに傷がある	音楽CDの傷が原因で音飛びが発生することがあります。

書き込み時に「書き込み後コンペア」の項目を選択できない

音楽CDを書き込んでいる	音楽CDの書き込み時は、オンザフライでの書き込みやコンペアは行えません。そのため、これらの項目はグレー表示され、選択できません。

オンザフライ方式でCDのバックアップができない

CD-ROMドライブがオンザフライ方式に対応していない	CD-ROMドライブによっては、オンザフライ方式でCDのバックアップができないことがあります。その場合は、CRWIにCDをセットしてバックアップを行ってください。

DVD-RAMドライブから音楽CDを読み出せない

弊社製DVD-RAM5.2GTなどのDVD-RAMドライブにセットした音楽CDからWAVEデータを作成する場合、音楽データが読み出せないことがあります。その場合は、CRWIに音楽CDをセットして読み出してください。

5

付録

Windows95の再セットアップ

Windows95を再セットアップするときは、CRWIを認識させるために、起動ディスクの内容を変更する必要があります。

パソコンに付属の起動ディスクを使用する場合とWindows95上で作成した起動ディスクを使用する場合とで、変更手順が異なります。

※ WindowsMe/98の場合は、パソコンに付属の起動ディスク、WindowsMe/98上で作成した起動ディスクともにCRWIを認識できます。特別な設定は必要ありません。

※ Windows2000/NT4.0の場合は、Windows2000/NT4.0のCD-ROMおよびCD-ROMから作成した起動ディスクともにCRWIを認識できます。特別な設定は必要ありません。

パソコンに付属の起動ディスクを使用する場合

⚠注意 起動ディスクのバックアップディスクを必ず作成してください。以下の操作では起動ディスクの内容を変更します。オリジナルのディスクは大切に保管し、以下の操作にはバックアップディスクを使用してください。

1 CRWI付属のドライバディスク内にあるファイル「MELCDU.EXE」を、起動ディスクにコピーします。

2 Windows95のメモ帳やDOSのEDIT.EXEなどのエディタを使用して、起動ディスク内のCONFIG.SYSファイルとAUTOEXEC.BATファイルを次のように書き換えます。

（網掛け）部分が追加する記述です。

・CONFIG.SYS

＜修正前＞

```
DEVICE=A:\xxxx.SYS /D:xx_xxx
```

CD-ROMドライブによって、CD-ROMドライバのファイル名やデバイス名は異なります。

＜修正後＞

```
REM  DEVICE=A:\xxxx.SYS /D:xx_xxx
DEVICE=A:\MELCDU.EXE /A /D:MELCD001
```

追加します。「REM」の後ろには半角スペースを入力してください。（標準のCD-ROMドライバを無効にします）

行を追加します。（CRWIのドライバを有効にします）

・AUTOEXEC.BAT

＜修正前＞

```
A:\MSCDEX.EXE /D:xx_xxx /L:Q
```

ドライブがQとして割り当てられる場合の例です。

＜修正後＞

```
REM  A:\MSCDEX.EXE /D:xx_xxx /L:Q
A:\MSCDEX.EXE /D:MELCD001/L:Q
```

修正前と同じドライブ名を割り当ててください。

追加します。「REM」の後ろには半角スペースを入力してください。

行を追加します（CRWIをドライブとして登録します）。

3 変更した起動ディスクでWindowsを再セットアップします。

Windows95上で作成した起動ディスクを使用する場合

1 Windows95上で起動ディスクを作成します。

作成方法は、Windows95のマニュアルまたはヘルプを参照してください。

2 CRWI付属のドライバディスク内にあるファイル「MELCDU.EXE」を、起動ディスクにコピーします。

3 Windows95のメモ帳やDOSのEDIT.EXEなどのエディタを使用して、起動ディスク内のCONFIG.SYSファイルに次の行を追加します。

```
DEVICE=A:\MELCDU.EXE /A /D:MELCD001
LASTDRIVE=Z
```

4 C:\WINDOWS\COMMANDフォルダ内のMSCDEX.EXEファイルを起動ディスクにコピーします。

下線部は、Windows95のインストールされているドライブのドライブ名です。

5 Windows95のメモ帳などのエディタを使用して、次のように入力します。

```
A:\MSCDEX.EXE /D:MELCD001 /L:Q
```

6 入力したら、起動ディスク内にAUTOEXEC.BATファイルとして保存します。

7 変更した起動ディスクでWindows95を再セットアップします。

起動時のメッセージ

MELCDU.EXEをコピーし、編集した起動ディスクでパソコンを起動すると、次のメッセージが表示され、CRWIが認識されたことが確認できます。

＜例:セカンダリのマスタにCRWIを取り付けているとき＞

```
MELCO Unify CD-ROM Driver Ver x.xx Copyright(C)1999 MELCO INC.

Searching SCSI CD-ROM(ASPI)
Searching ATAPI CD-ROM
Primary    - Master    None
Primary    - Slave     None
Secondly   - Master    PLEXTOR CD-R PX-W1610A
Secondly   - Slave     None
Found 1 CD - ROM Drives
```

（PLEXTOR CD-R PX-W1610A）CRWIです。 取り付けかたによって表示される位置は異なります。

仕様

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)をご参照ください。

項目		内容
対応インターフェース		ATAPI
平均アクセスタイム		140msec（ランダムアクセス時）
データバッファサイズ		2MB
転送速度	サステンド	CD-R書き込み ：2400KB/sec（16倍速） 1800KB/sec（12倍速） 1200KB/sec（8倍速） 600KB/sec（4倍速） 150KB/sec（1倍速） CD-RW書き込み：1500KB/sec（10倍速）(*) 1200KB/sec（8倍速）(*) 600KB/sec（4倍速） 300KB/sec（2倍速） 読み出し ：最大6000KB/sec（40倍速）
	プログラムI/O	16.7MB/sec（ATA PIO Mode4）
	バーストDMA	16.7MB/sec（ATA MultiWord DMA Mode2）
消費電力		平均13W　最大19W
サイズ		146(W)×42(H)×202(D)mm
重量		1.2kg
動作環境	温度	5〜40℃
	湿度	20〜80%（結露無きこと）
対応機種、対応OS		Pentium166MHz以上のCPUを搭載するDOS/V機（OADG仕様） およびNEC PC98-NXシリーズのデスクトップパソコン 対応OS：WindowsMe/98、Windows95(4.00.950 B/4.00.950 C)、Windows2000/NT4.0

* この速度で書き込みをするためには、High Speed対応のCD-RWメディアが必要です。

■保証書について

本製品付属の保証書には保証期間と保証規定が記載されています。内容をお確かめになり、大切に保管してください。

■ ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとして登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。

※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

■ 備品販売窓口

・インターネット .. http://buffalo.melcoinc.co.jp/bihin/index.html

※ ホームページに記載の手順でお申し込みください。

・郵送 .... 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ 備品販売窓口

※ 希望する備品名、ご購入の製品名(シリアルNoも必要)、送付先住所、氏名、連絡先をお書き添えください。

■ 修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても症状が改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒にお送りください。修理票は、弊社ホームページ（本書裏表紙参照）にてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

① 返送先 ［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
② 平日昼間の連絡先 ［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況 ［始めから/ある日突然/環境を変えたら］
⑧ 発生頻度 ［必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他］
⑨ コンピュータ ［本体メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑩ ハードディスク ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑪ ディスプレイ ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑫ その他周辺機器 ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑬ OS(オペレーティング・システム) ［ソフト名/メーカ名/バージョン］

製品送付先	〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ　修理センター宛
電話番号	052-619-1289

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンター（裏表紙に記載）へお願いします。

※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。

※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。

※ ハードディスクをお送りいただいた場合、そのハードディスク内のデータは検査の際に削除いたします。また、ドライブユニットが故障の場合、同等のドライブユニットと交換させていただきます。必要なデータは事前にバックアップを作成しておいてください。

※ 修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

■ WinCDR、PacketManのサポートについて

WinCDRユーザーガイドにとじ込まれているお客様登録カード(株式会社アプリックス)は、必要事項をご記入の上、必ず郵送してください。また、WinCDR、PacketManの操作方法や製品情報は、「株式会社アプリックスユーザーサポート」までお問い合わせください。【「WinCDRクイックスタートガイド」内の1ページ参照】

※ 株式会社メルコでは、WinCDR、PacketManに関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

CRWI-B1610FB ユーザーズマニュアル

2001年2月2日 初版発行
発行　　株式会社メルコ

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

インターネット

http://www.melcoinc.co.jp/

製品サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ストレージ製品専用ダイヤル

<東　京> 03-5350-7990

月～金 9:30～12:00/13:00～19:00　※祝日を除く
土/祝 9:30～12:00/13:00～17:00　※日曜日を除く

<名古屋> 052-619-1188

月～金 9:30～12:00/13:00～17:00　※祝日を除く

※事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。
- コンピュータ名と使用OS
- 本製品の製品名とシリアルナンバー
- 現象（具体的なエラーメッセージなど）